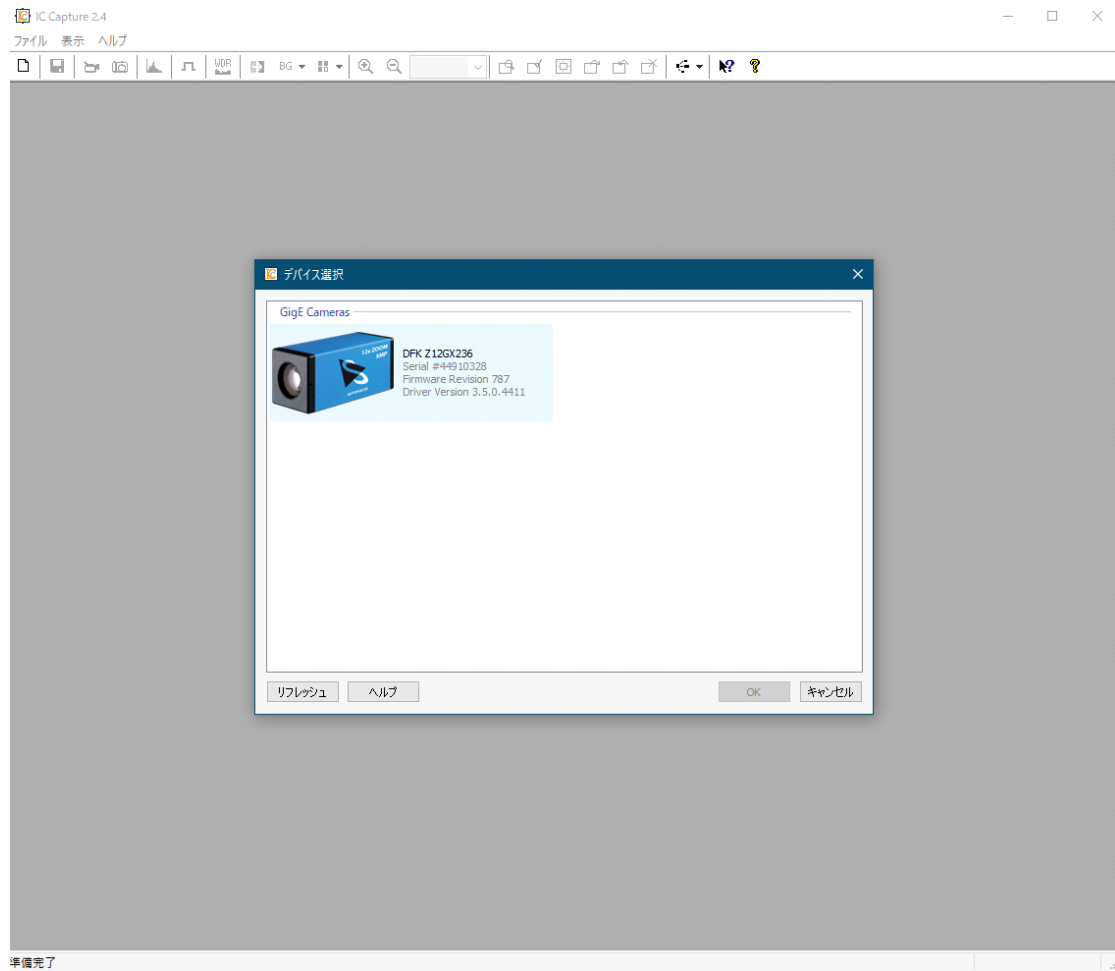


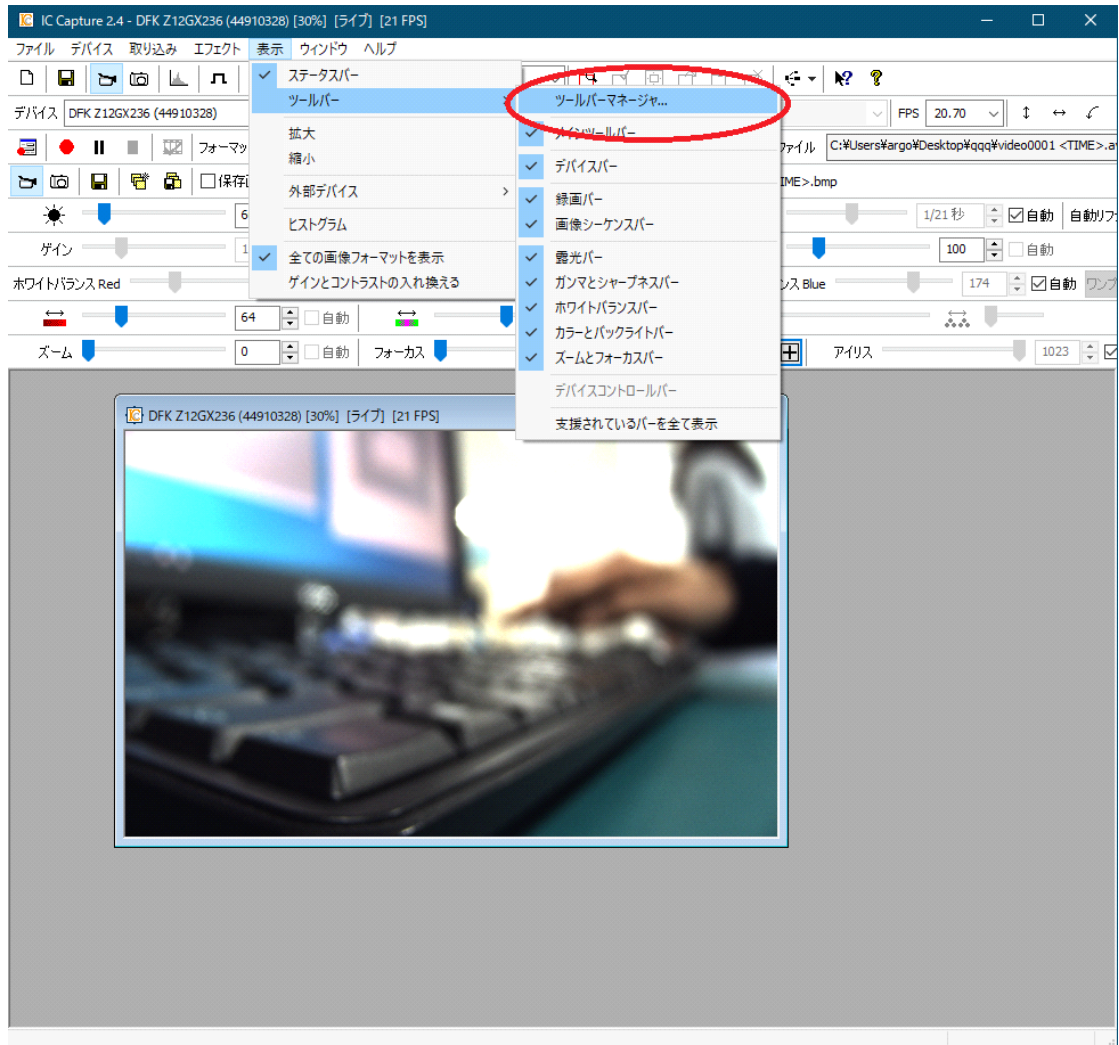
# 電動ズームレンズ内蔵カメラ DFKZ シリーズ簡易マニュアル

# 1. デバイスのオープン



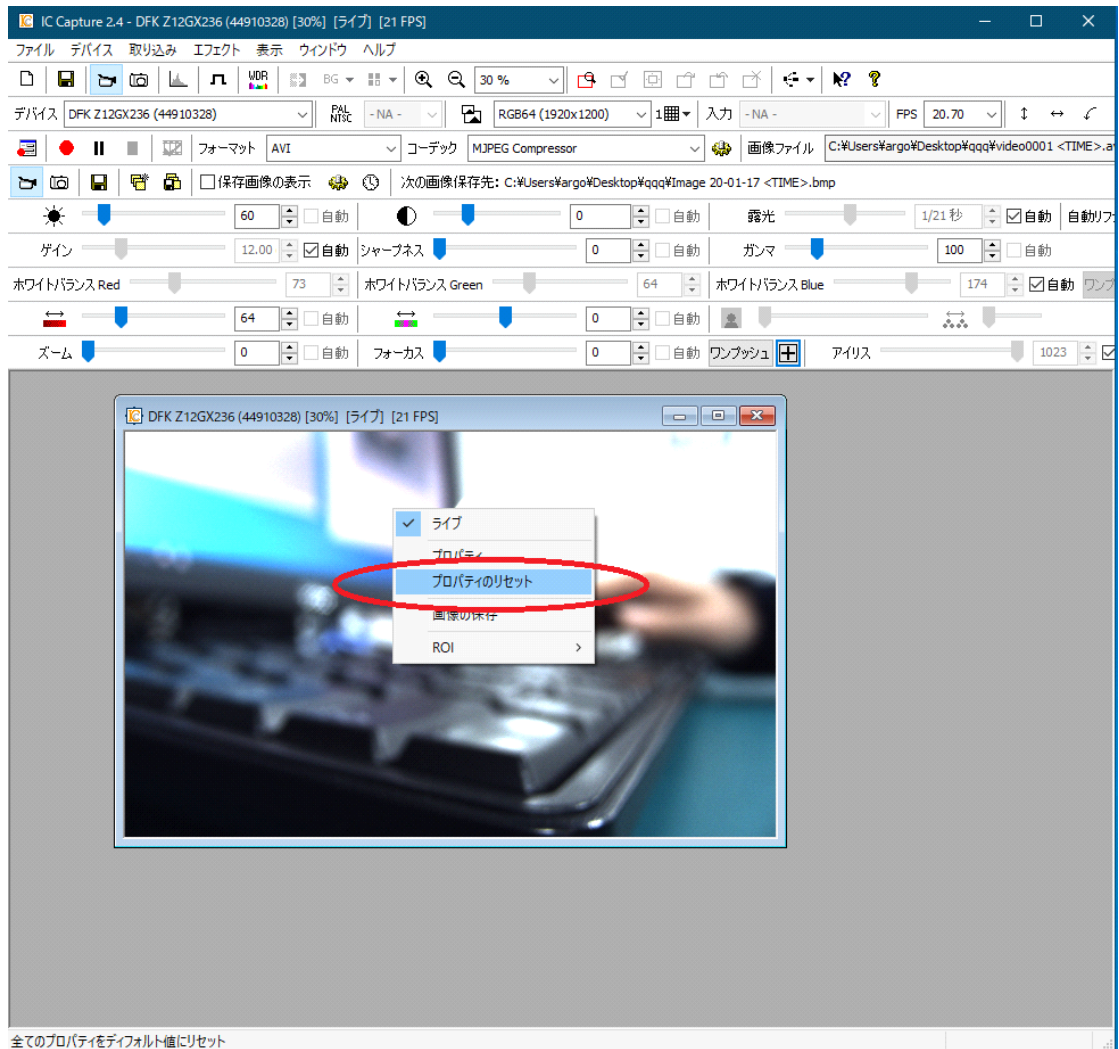
説明:GigE カメラドライバーと ICCapture をインストールし、ICCapture を立ち上げます。  
ICCapture でデバイス選択し、デバイスをオープンします。

## 2. ツールバーを表示



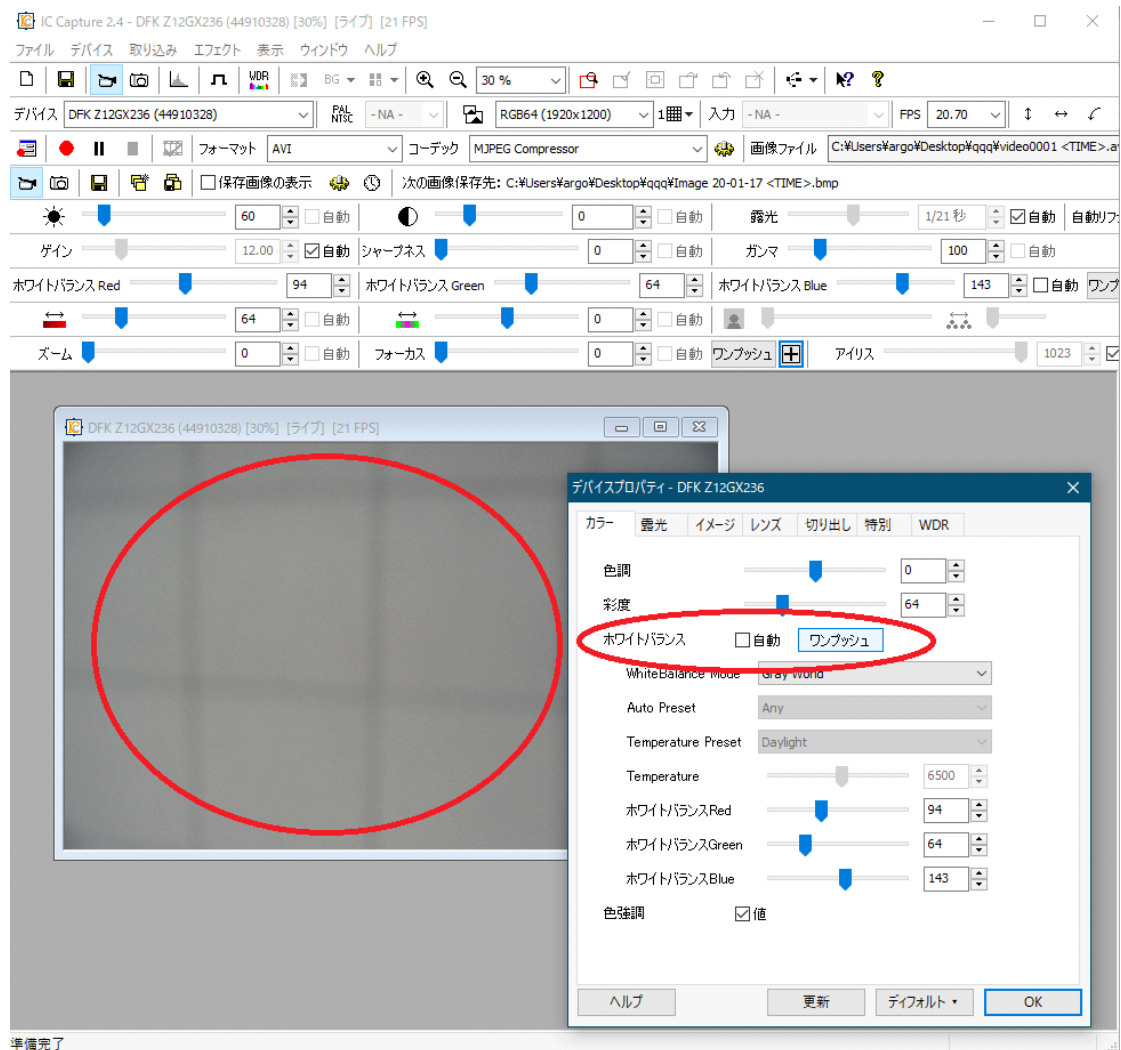
説明：デバイスをオープンしたら、表示⇒ツールバー⇒ツールバーマネージャで ICCapture 内で表示するバーを調整します。バーを表示しないようにすればモニターに画像を大きく表示できます。

### 3. プロパティをリセット



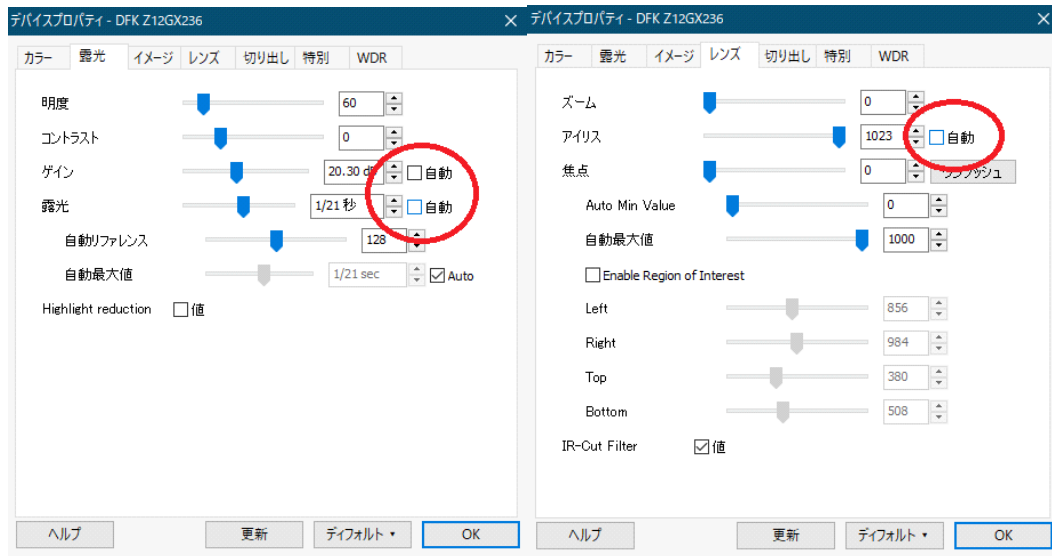
説明：ライブ表示している画面を右クリックし、プロパティのリセットを押下します。ズーム光学機工などをリセットする目的です。

## 4. ホワイトバランスの調整



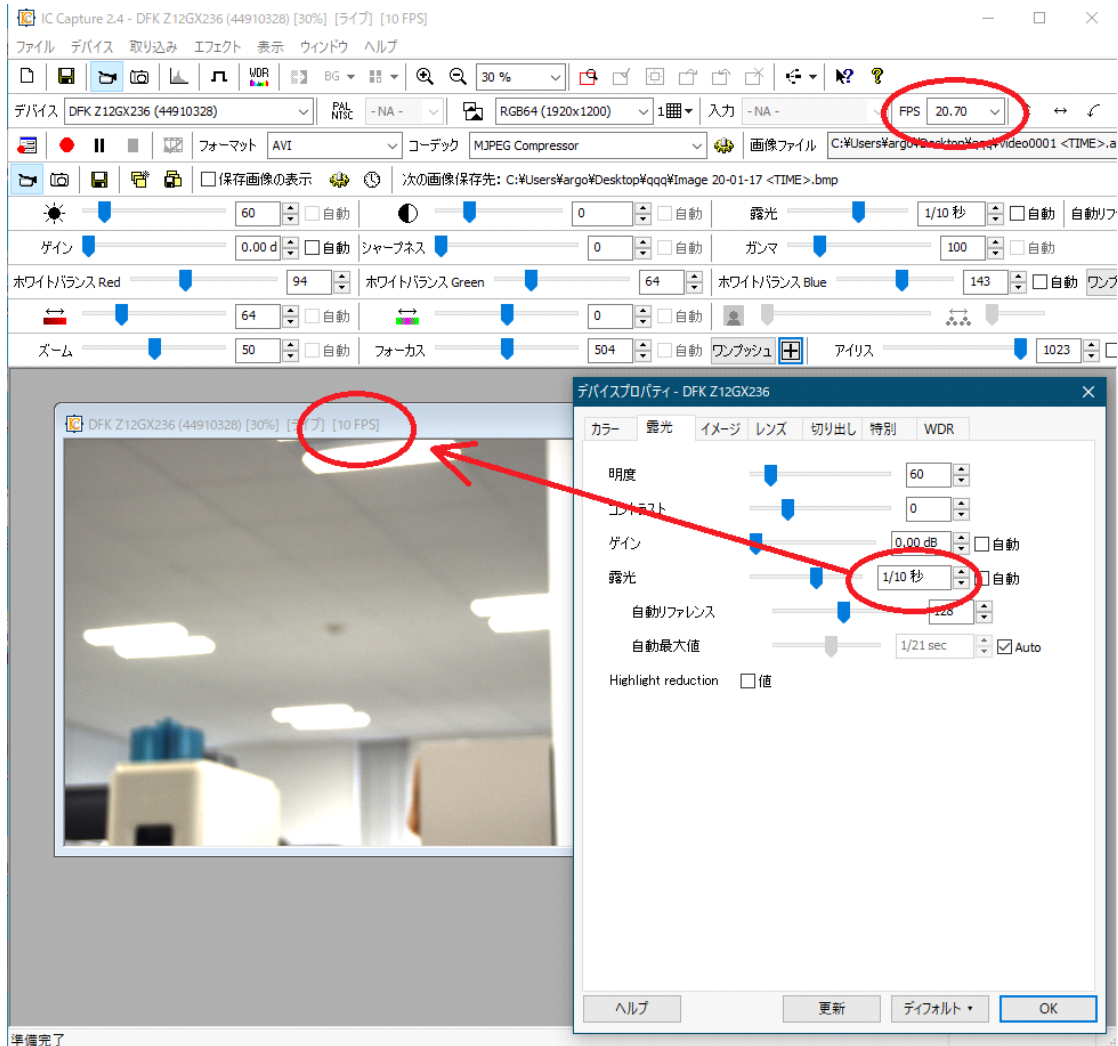
説明：ライブ表示している画面を右クリックし、プロパティを開き、ホワイトバランスを調整します。とゲインと露光とアイリスの4つのパラメータを調整します。まずホワイトバランスです。ホワイトバランスは「自動」のチェックを外し、白いものを画面全体に映しながら「ワンプッシュ」を押下します。そうすると、ホワイトバランス Red/Green/Blue が自動で調整されます。「自動」にチェックが入ったままだと、色味のあるものを映した時にホワイトバランスパラメータが変化し、色が不自然に映ります。

## 5. 明るさ（ゲイン、露光時間、アイリス）の調整



説明：次に、ゲインと露光、アイリスの「自動」のチェックをすべて外します。ゲイン、露光時間、アイリスはそれぞれ明るさを調整する項目です。ゲインを上げすぎるとノイズがのります。アイリスは絞ってあげると被写界深度が深くなります。

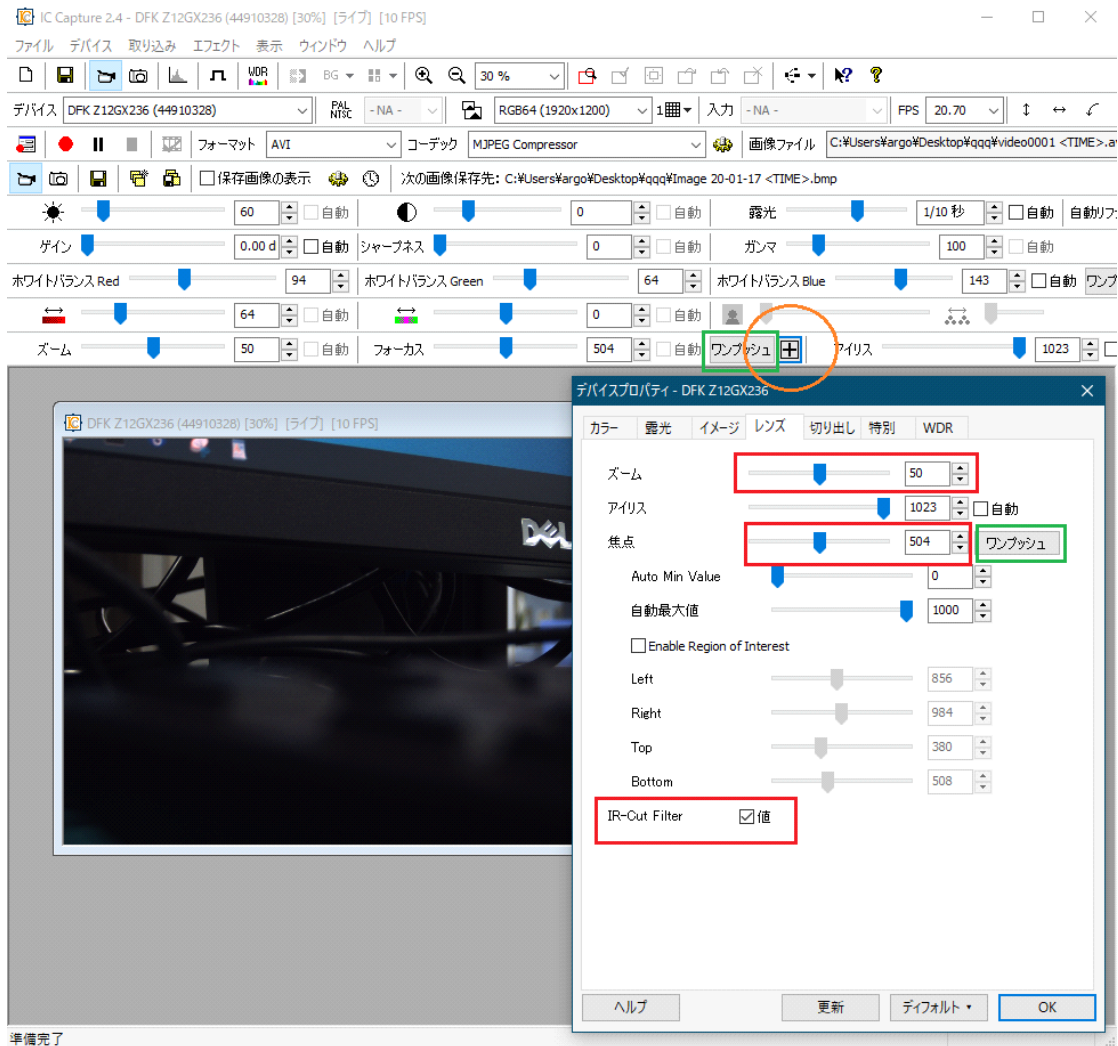
## 6. 露光時間とフレームレートについて



説明：露光時間を上げすぎると、フレームレートが遅くなります。上記の例ではフレームレートは 20fps に設定していますが、露光時間を 1/10sec=100ms に設定するとフレームレートは 10fps に低下します。これは、露光時間が 1/10sec=100ms なので、画像は 1 秒間に 10 枚しかカメラから出力しない為です。フレームレートの間隔は露光時間よりも短くすることはできず、露光時間がボトルネックになります。



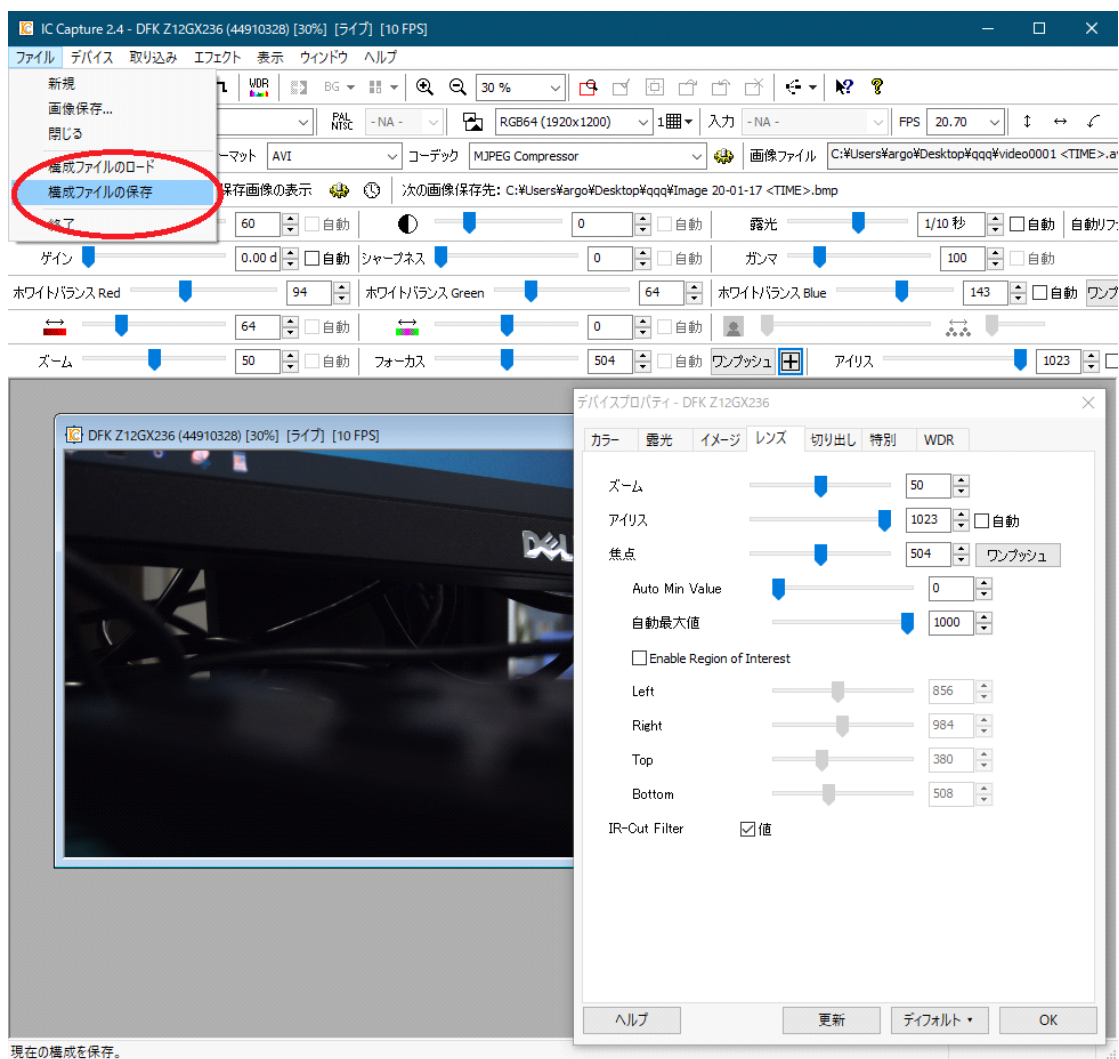
## 7. レンズの調整



説明：ズームや焦点を調整します。ワンプッシュ（緑）は画面全体に対してフォーカスを自動で合わせます。ただし、視野内に異なる奥行き撮影対象物があったり特徴点や模様のないのっぺりとした面を撮影する場合はワンプッシュ調整に時間がかかったり、フォーカスが合わなかったりします。デバイスプロパティはカメラから読み出ししていますが、ターゲット（黄色）は ICapture に実装された機能でデバイスから読み出ししていません。ターゲット（黄色）をワンクリックしその後視野内のフォーカスを合わせたい場所でマウスを押下するとその指定した場所に対してフォーカスを合わせることができます。



## 8. 設定したプロパティ情報の保存



説明：ファイル⇒構成ファイルの保存で、.iccf ファイルを保存できます。このファイルには ICapture で現在設定しているプロパティなどの情報が保存されています。保存された iccf ファイルをダブルクリックで実行すると、ICapture が立ち上がり保存時の設定状態でカメラを再度動作させることができます。